

## 学科等における教員養成に対する理念・目標・教育課程

学部・学科	人文学部心理人間学科
校種（免許教科）	高等学校教諭一種免許（公民）
<p>（１） 学科の理念</p> <p>心理人間学科は、「人間の尊厳のために」という教育モットーのもと、現在そしてこれからの社会で求められる、人を理解し、人と関わり、人を支援する態度と専門的な知識・技能を備えた人間を育成する。本学科での学修を通して修得した科学的思考力を基盤として、１．学術的な観点から、自分自身や他者、人間関係、社会を多面的に理解できる力、２．人間関係や社会における課題を発見、分析し、創造的な対応を考案できる力、３．心理学の知識を背景に、多様な価値観をもつ他者と協働する力を備えた人間を育成する。</p> <p>（２） 教員養成の目標・計画</p> <p>人を理解し、人と関わり、人を支援する態度と専門的な知識・技能は、現代の社会で求められている態度や知識・技能の一つである。心理人間学科では、心理学、教育学、人間関係論を中心としたカリキュラムを編成し、理論学習のみならず体験学習の側面にも注力して教育を行っている。</p> <p>理論学習として、「教育学概論」「近代教育と子ども」「臨床教育学」「教育社会史」といった教育学関係の科目、「社会学概説」「子ども・青年社会学」といった社会学関係の科目、「発達心理学」「学習・言語心理学」「社会心理学(社会・集団・家族心理学)」「教育・学校心理学」「臨床心理学(臨床心理学概論)」「心理療法論(心理学的支援法)」といった心理学関係の科目が開設されており、人間の発達と教育に関する基本的な知識を涵養している。</p> <p>さらに、具体性をもって人を理解し、人と関わり、人を支援する態度と専門的な知識・技能を育成する科目として体験学習の科目が充実している。その例として、「人間関係フィールドワークⅠ」「人間関係フィールドワークⅡ」「人間関係フィールドワークⅢ」をあげることができる。この科目では、特別支援学校や不登校生徒の指導教室、障害児・者施設や高齢者施設などに数か月通い続けるものである。教職課程を履修している学生が「人間関係フィールドワークⅠ」を受講した場合、法令外の幾つかの施設を除いて教員免許状取得の要件である「介護等体験」実習に読み替えることができる。この読み替えは、愛知県教育委員会の了解のもとに行われている。また、小グループの中で生じる人間関係のダイナミクスについて、ラボラトリー方式の体験学習によって、理論の理解とグループプロセスに働きかける実際的な技能の育成を目指す「人間関係プロセス論(ファシリテーション・アプローチⅠ)」「人間関係プロセス論(ファシリテーション・アプローチⅡ)」という科目も開設されている。カウンセリングの基礎的な理解と対人支援能力の育成を目指す「人間関係プロセス論(カウンセリング・アプローチⅠ)」「人間関係プロセス論(カウンセリング・アプローチⅡ)」「カウンセリング演習」という科目も開設されている。</p> <p>このような体験学習は、人に関わることを単に知識として身に付けるのではなく、具体性を伴ったより深い理解を促し、またそこに自分がどのように関わるができるのか、関わるべきなのかといった、対個人、対集団の能動性を涵養することにもつながっている。</p> <p>（３） 授業科目・教育課程の編成実施（校種・免許教科別に記載）</p> <p>（ア） 高等学校教諭一種免許（公民）</p>	

心理人間学科では、免許法施行規則に定める科目区分に基づき、「法律学（国際法も含む）、政治学（国際政治も含む）」、「社会学、経済学（国際経済も含む）」、「哲学、倫理学、宗教学、心理学」、「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む）」の領域について、それぞれ特色ある授業科目を設けている。「法律学（国際法も含む）、政治学（国際政治も含む）」では、必修科目として「法学概論」を配置する。選択科目として「法学A」「法学B」「政治学A」「政治学B」を配置する。「社会学、経済学（国際経済も含む）」では、必修科目として「社会学概説」を配置する。選択科目として「人間関係プロセス論（ファシリテーション・アプローチⅠ）」「人間関係プロセス論（ファシリテーション・アプローチⅡ）」「人間関係プロセス論（カウンセリング・アプローチⅠ）」「人間関係プロセス論（カウンセリング・アプローチⅡ）」「地域開発と人間関係Ⅰ」「地域開発と人間関係Ⅱ」「子ども・青年社会学」「コミュニケーション論」「近代教育と子ども」を配置する。「哲学、倫理学、宗教学、心理学」では、必修科目として「心理学概論」を配置する。選択科目として「社会心理学（社会・集団・家族心理学）」「心理的アセスメント」「学習・言語心理学」「知覚・認知心理学」「発達心理学」「生涯発達心理学（発達心理学）」「臨床心理学（臨床心理学概論）」「カウンセリング演習」「パーソナリティ心理学（感情・人格心理学）」「心理療法論（心理学的支援法）」を配置する。「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む）」では、必修科目として「社会・公民指導法A」「社会・公民指導法B」を配置する。